

平成 27 年 7 月 12 日 (日) 施行

## 第 179 回 全経簿記能力検定試験 1 級 会計 解説

### 第 1 問

1. 企業会計原則 第一 一般原則 三
2. 企業会計原則注解 [注 2] (1)

### 第 2 問

1. 保証債務額  $\text{¥}200,000 \times 2\% = \text{¥}4,000$
2. 有価証券の預りは受入時の時価で処理  $300 \text{ 株} \times @ \text{¥}2,400 = \text{¥}720,000$
3. 「受託者による販売金額をもって売上収益を計上」とあるので、積送品売上は  $\text{¥}425,000$   
当座預金に振り込まれた手取金  $\text{¥}337,000$  との差額 (引取運賃と手数料)  $\text{¥}48,000$  は積送諸掛として処理する。また、積送品勘定にあった当該商品を仕入勘定に振り替える。
4. 社債  $\text{¥}60,000,000 \times (97.5/100) = \text{¥}58,500,000$   
5 年間で償却するので、年間償却額は  $(\text{¥}60,000,000 - \text{¥}58,500,000) / 5 \text{ 年} = \text{¥}300,000$   
 $\Rightarrow 3 \text{ ヶ月分} \text{¥}300,000 \times (3/12) = \text{¥}75,000$   
年間利息  $\text{¥}60,000,000 \times 1.4\% = \text{¥}840,000$   
 $\Rightarrow 3 \text{ ヶ月分} \text{¥}840,000 \times (3/12) = \text{¥}210,000$   
社債発行費は 5 年償却なので、年間償却額  $\text{¥}72,000 / 5 \text{ 年} = \text{¥}14,400$   
 $\Rightarrow 3 \text{ ヶ月分} \text{¥}14,400 \times (3/12) = \text{¥}3,600$
5. 資本金の  $1/4$  :  $\text{¥}10,000,000 / 4 = \text{¥}2,500,000$   
準備金の合計額 : 資本準備金  $2,000,000 +$  利益準備金  $\text{¥}240,000$   
準備金の合計額が、資本金の  $1/4$  に達するまで配当額の  $1/10$  を利益準備金として計上しなければならない。この場合配当金の  $1/10$  は  $\text{¥}3,000,000 \times 1/10 = \text{¥}300,000$  であるが、利益準備金をあと  $\text{¥}260,000$  積み立てれば資本金の  $1/4$  に達する。
6. 内金受領時は  $1 \$ = \text{¥}105$  なので内金 (前受金) は  $\$4,000 \times \text{¥}105 = \text{¥}420,000$   
 $\$4,000$  受け取っているので、残額 (売掛金) は  $\$16,000$   
商品発送時は  $1 \$ = \text{¥}112$  なので  $\$16,000 \times \text{¥}112 = \text{¥}1,792,000$

### 第 3 問

売上高は第 1 回売上 - 売上戻り + 第 2 回売上  
 $\text{¥}460,000 - \text{¥}46,000 (20 \text{ 個} \times @ \text{¥}2,300) + \text{¥}517,000 = \text{¥}931,000$

#### ① 先入先出法

第 1 回売上の売上原価は  $(120 \text{ 個} \times @ \text{¥}1,605) + (80 \text{ 個} \times @ \text{¥}1,620) = \text{¥}322,200$   
売上戻りで  $20 \text{ 個} \times @ \text{¥}1,620 = \text{¥}32,400$   
第 2 回売上の売上原価は  $(180 \text{ 個} \times @ \text{¥}1,620) + (40 \text{ 個} \times @ \text{¥}1,625) = \text{¥}356,600$   
売上原価 :  $\text{¥}322,200 - \text{¥}32,400 + \text{¥}356,600 = \text{¥}646,400$   
売上総利益 :  $\text{¥}931,000 - \text{¥}646,400 = \text{¥}284,600$   
期末棚卸高 :  $140 \text{ 個} \times @ \text{¥}1,625 = \text{¥}227,500$

α 商品  
(先入先出法)

月初棚卸高	120 個	@¥1,605	120 個	@¥1,605	
			80 個	@¥1,620	第 1 回売上
			△20 個	@¥1,620	売上戻り
第 1 回仕入	240 個	@¥1,620	180 個	@¥1,620	第 2 回売上
			40 個	@¥1,625	
第 2 回仕入	190 個	@¥1,625	140 個	@¥1,625	月末棚卸高
仕入戻し	△10 個	@¥1,625			

②移動平均法

第 1 回仕入によって

$$\frac{120 \text{ 個} \times @ ¥1,605 + 240 \text{ 個} \times @ ¥1,620}{120 \text{ 個} + 240 \text{ 個}} = @ ¥1,615$$

第 1 回売上の売上原価は  $200 \text{ 個} \times @ ¥1,615 = ¥323,000$

売上戻りで  $20 \text{ 個} \times ¥1,615 = ¥32,300$  (この時点で α 商品は 180 個)

第 2 回仕入で

$$\frac{180 \text{ 個} \times @ ¥1,615 + 190 \text{ 個} \times @ ¥1,625}{180 \text{ 個} + 190 \text{ 個}} = @ ¥1,620.1351\dots$$

仕入戻しにより以下に再計算する

$$\frac{180 \text{ 個} \times @ ¥1,615 + 180 \text{ 個} \times @ ¥1,625}{180 \text{ 個} + 180 \text{ 個}} = @ ¥1,620$$

第 2 回売上の売上原価は  $220 \text{ 個} \times @ ¥1,620 = ¥356,400$

売上原価:  $¥323,000 - ¥32,300 + ¥356,400 = ¥647,100$

売上総利益:  $¥931,000 - ¥647,100 = ¥283,900$

月末棚卸高は  $140 \text{ 個} \times @ ¥1,620 = ¥226,800$

**第 4 問**

子会社の純資産は  $30,000 \text{ 千円} + 25,600 \text{ 千円} + 3,400 \text{ 千円} = 59,000 \text{ 千円}$

親会社は子会社の発行済議決権株式総数の 80% を取得したので、

親会社持分	80%	→	47,200 千円
非支配株主持分	20%	→	11,800 千円

のれんの金額は  $65,000 \text{ 千円} - 47,200 \text{ 千円} = 17,800 \text{ 千円}$

連結修正仕訳は

(借) 資本金	30,000	(貸) 子会社株式	65,000
資本剰余金	25,600	非支配株主持分	11,800
利益剰余金	3,400		
のれん	17,800		

## 第5問

### 〔資料2〕 検討事項

#### 1. 当座預金

(1) (借) 売掛金	900	(貸) 当座預金	900
(2) 仕訳なし			
(3) (借) 当座預金	650	(貸) 買掛金	650

(2)は未取付小切手なので、当座預金の残高は  $22,500 \text{ 千円} - 900 \text{ 千円} + 650 \text{ 千円} = 22,250 \text{ 千円}$  となる。残高試算表より、現金の残高は  $890 \text{ 千円}$  なので、現金及び預金は  $890 \text{ 千円} + 22,250 \text{ 千円} = 23,140 \text{ 千円}$

また、買掛金の貸借対照表価額は  $7,650 \text{ 千円} + 650 \text{ 千円} = 8,300 \text{ 千円}$

#### 2. 仮払金の処理

(借) 仮払法人税等	1,400	(貸) 仮払金	9,240
仮払消費税	7,480		
退職給付引当金	360		

#### 3. 仮受金の処理

(借) 仮受金	11,480	(貸) 仮受消費税	11,480
---------	--------	-----------	--------

#### 消費税の処理

(借) 仮受消費税	11,480	(貸) 仮払消費税	7,480
		未払消費税	4,000

#### 4. 売上割引は営業外費用として処理しなければならないので、売上から控除した処理を修正する。

(借) 売上割引	800	(貸) 売上	800
----------	-----	--------	-----

### 〔資料3〕 決算整理事項

#### 1. 売掛金の期末残高は $15,500 \text{ 千円} + 900 \text{ 千円}$ (検討事項1(1)) = $16,400 \text{ 千円}$

貸倒引当金は  $16,400 \text{ 千円} \times 2.0\% = 328 \text{ 千円}$

残高試算表の貸倒引当金残高は  $230 \text{ 千円}$  なので、差額補充法により、

(借) 貸倒引当金繰入	98	(貸) 貸倒引当金	98
-------------	----	-----------	----

#### 2. 売買目的有価証券の評価替え

岩木会社株式  $(6.35 \text{ 千円} - 5.06 \text{ 千円}) \times 1,000 \text{ 株} = 1,290 \text{ 千円}$

磐梯会社株式  $(3.90 \text{ 千円} - 4.60 \text{ 千円}) \times 500 \text{ 株} = \Delta 350 \text{ 千円}$

(借) 有価証券	940	(貸) 有価証券評価益	940
----------	-----	-------------	-----

#### 3. 期末商品の評価

@5.70 千円

@5.40 千円

商品評価損	棚卸減耗費
a 商品	

1,260 個    1,300 個

商品評価損

$(@5.70 \text{ 千円} - @5.40 \text{ 千円}) \times 1,260 \text{ 個} = 378 \text{ 千円}$

棚卸減耗費

$@5.70 \text{ 千円} \times (1,300 \text{ 個} - 1,260 \text{ 個}) = 228 \text{ 千円}$

@3.60 千円

@4.25 千円

商品評価損なし	棚卸減耗費
b 商品	

650 個    700 個

商品評価損

正味売却価額 > 取得原価 ⇒ 商品評価損なし

棚卸減耗費

$@3.60 \text{ 千円} \times (700 \text{ 個} - 650 \text{ 個}) = 180 \text{ 千円}$

帳簿棚卸商品

a 商品 5.70 千円×1,300 個=7,410 千円  
 b 商品 3.60 千円×700 個=2,520 千円 } 9,930 千円  
 商品評価損…378 千円  
 棚卸減耗費…228 千円+180 千円=408 千円

(借) 仕 入	8,444	(貸) 繰越商品	8,444
繰越商品	9,930	仕 入	9,930
商品評価損	378	繰越商品	378
棚卸減耗費	408	繰越商品	408

#### 4. 減価償却

建物（定額法）残存価格ゼロ

$(44,000 \text{ 千円} - 0 \text{ 円}) / 40 \text{ 年} = 1,100 \text{ 千円}$

備品（定率法）償却率 0.250

$(9,200 \text{ 千円} - 2,300 \text{ 千円}) \times 0.250 = 1,725 \text{ 千円}$

(借) 減価償却費	2,825	(貸) 建物減価償却累計額	1,100
		備品減価償却累計額	1,725

#### 5. 退職給付の積立

(借) 退職給付費用	400	(貸) 退職給付引当金	400
------------	-----	-------------	-----

なお、退職給付引当金の残高は、残高試算表残高¥8,300 および〔資料2〕検討事項2より  
 $\text{¥}8,300 + \text{¥}400 - \text{¥}360 = \text{¥}8,340$

#### 6. 借入から決算日までは4ヵ月経過しているので、当期の利息は

$14,000 \text{ 千円} \times 2.1\% \times (4 \text{ ヵ月} / 12 \text{ ヵ月}) = 98 \text{ 千円}$

(借) 支払利息	98	(貸) 未払費用	98
----------	----	----------	----

#### 7. 前払保険料

未経過分  $100 \text{ 千円} \times 3 \text{ ヶ月} = 300 \text{ 千円}$

(借) 前払費用	300	(貸) 保険料	300
----------	-----	---------	-----

#### 8. 法人税の計上

仮払法人税が1,400千円あるので

(借) 法人税等	2,900	(貸) 未払法人税等	1,500
		仮払法人税	1,400